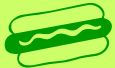


ナナミちゃんの農事通信

山梨県北杜市明野町で「雨と風と太陽と」
「土と人情」に囲まれた。ナナミ
ちゃんの「私、土の子」奮闘記

ネズミはいないか庭畑をパ
トロールする
ハナ
08.10撮影



1 月はじめは暑さ続き



↑08.01トウモロコシも半分収穫終る、鳥除けに肥料袋を棒に挿し防鳥ネットも張って対策中。



↑バケツの中身、キュウリにゴーヤと万願寺唐辛子、インゲンにズッキーニとハバヒロインゲン、庭畑で毎朝力カの定時作業。



↑08.01庭畑の熟したマクワウリを手に、インゲンやキュウリなど不要な葉を取り、収穫も同時進行中。



↑08.02裏の開墾畑では長ナスに緑のヘタの米ナス、丸みのあるミスナスとナスにインゲン。

5月初旬に植えた苗や種蒔きした野菜がとれだし、降雨に恵まれると野菜はぐんと育ち、日照りになれば水遣りが忙しく収穫量は減ってしまいます。雨が続き過ぎれば病気になるなど、力カの野菜作りは忙しい。



←08.09大きな夏茗荷が取れだした。↓08.10キュウリに長ナス、インゲンとハバヒロインゲン



↓赤と黄のパプリカに大根と玉ネギ、エシレットを混ぜて

目次

1 月はじめは暑さ続き	1
2 「ナナミちゃんのお宿」は?	1
3 エコハウス私論	2
4 八月のお味	2

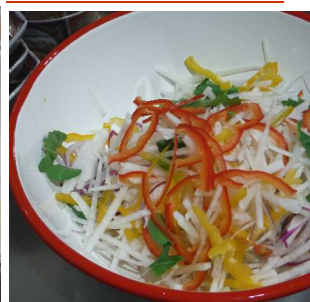
ハイライト

8月7日～11日「涼風至りょうふういたる」涼しい風が吹き始める頃という意味。この季節に咲く野の花と言えば「つゆくさ」道端や畑や庭などで、青紫の花を咲かせる。万葉集や古今和歌集などに、花の青紫は色の美しさに比べて、水に溶けやすく色変わりする、万葉集などでは人情のうつろいやすさに例えられ、枕草子にも書かれているとか。古くから全草に解熱効果がありとされ、民間療法として気管支ぜんそくに乾燥量15gを煎服するが、急なときは生のまますりつぶして服用するとよいといわれている。土用のころ、地上部分を刈り取って風通しの良い所で陰干しにし、家庭の常備薬にもしたそうです。庭の草取りで抜いて放置しておく、なかなか枯れない厄介者。ナデシコも遅咲きには、この時期に咲くものがあり、秋の七草とされています。やはり季節の花ナデシコは中国から渡来した「唐撫子」と、在来種は「河原撫子」「大和撫子」と呼ばれ、わが家のナデシコは早咲きの園芸種と道端で見つけた大和撫子が咲いています。



08.08庭の日陰で目を引く青紫、ツルクサ咲く

2 「ナナミちゃんのお宿」は？



夏は食欲も落ちるので、冷たくノド越しの良いモノが欲しくなる季節。目に口にさわやか、酸味や冷たくおいしい料理などと心がけています。



↑ご飯は梅酢で炊き桜色に茗荷梅酢漬を刻んで、混ぜ合わせ「茗荷ちらし」出来上がり

↓鶏肉コンガリ焼き色つけて椎茸と冬瓜の煮物、茹でた島オクラを添えました。



↓人参素揚げと茹でたヤングコーンにミニトマト色々、味漬け卵を添えた野菜畑サラダ



